

大揚興業株式会社

和歌山市新通

何歳からでもステージアップが可能で 息の長い仕事ができる会社



代表取締役
村田弘至 さん

◇御社の歴史を教えてください。

昭和四十六年にビル管理法規建築物における衛生的環境の確保に関する法律が制定され、その頃からビル管理業の会社があちこちで創業し始めました。その好機に乗じてビル管理の仕事に従事していた現会長が、それまでの経験を活かして会社を興すことを決意しました。太陽をイメージし、目標を大きく掲げて会社を興そうという気持ちで、一から上を目指して掲げて興していこうという思いでの起業で社名を「大揚興業」としました。

◇仕事に対するこだわりは？

ビル管理業界は小さい会社が多く、企業として生き残っていくために、安く仕事を取り、安易に仕事をこなし、それを自転車操業のように繰り返すという話をよく耳にします。しかし、当社は、業務品質やお客様に提供するサービスの質を重視し、零細企業としては珍しく、ISOの品質管理・環境管理等を取得しました。更に労働安全衛生にも関心をもち、重視しています。それらにより、周りの会社よりもステージを一つ上げて常に信頼度をアップしながら仕事に励んでいます。

この業界は長く働くことができ、息の長い仕事です。特に当社は今の高齢化社会に先じて七十歳代でも元気に資格を活かした仕事ができる環境を構築しています。また、時代を先取りし、ワークショップという言葉が出る前から一人で仕事をするのはなく、複数の体制で仕事を分け合いながら長く勤められる環境を構築してきました。

(保安警備業務)



◇従業員の人材育成は？

一から育成する余裕がなかったため、現在、社員の平均年齢は六十歳代となり、七十歳以上の社員も約九十人います。これは年齢に関係なくその人にあった働き方ができるため、長く仕事をしてもらえた結果だと思っています。しかしながら、今はまだ元気に働いてくれている人が、年を重ねることに体も衰え、フルに働くことも難しくなっています。そこでは、これからはベテラン社員の技術を、次の世代に繋げていくことが、会社の使命であり、課題でもありと常に考えています。

◇御社の歴史を教えてください。

ビル管理に関し基本的な事がわかっていない人を採用し、採用した人のスキルを考慮して各現場に配属しています。一か所の現場だけだと同じ仕事しかできません。高齢の人ならそれで良いのかも思いますが、若くて能力のある人にはそれでは「もったいない」と考えています。そういう人のステージアップのために、本社業務に変更して色んな業務警備、電気関係、機械関係、空調関係、雑用を経験してもらおうと共にお客様との接し方、営業、メンテナンスなど幅広い経験ができるようにしています。本社業務では、依頼案件毎に現場が異なり、仕事内容も違ってきます。案件毎の成果も持ち帰らなければなりません。自分たちで成果物を申請し、会社に貢献することを勉強して、ステージアップを目指してもらっています。

この業界は長く働くことができ、息の長い仕事です。特に当社は今の高齢化社会に先じて七十歳代でも元気に資格を活かした仕事ができる環境を構築しています。また、時代を先取りし、ワークショップという言葉が出る前から一人で仕事をするのはなく、複数の体制で仕事を分け合いながら長く勤められる環境を構築してきました。

(検査測定業務)



◇ビル管理業界に就こうとする人
にアドバイスすることは？

息の長い仕事に就くことが何より大切だと考えています。例えば二十歳で入社し七十歳まで頑張ると、五十年間働くことになり、電気工事士の資格を取った場合、通常は電気工事の職種だけで定年を迎えますが、この業界では、電気工事を基礎知識として保安管理などにも活かすことができます。またその知識を基に自己研鑽し、上位の資格である電気主任技術者を取ると、責任をもちた仕事にも就くことができます。このように、年齢に関係なく常にステージアップを図れることがこの業界の魅力だと思っています。

◇ポリテクセンター和歌山に期待することは？

ポリテクセンターから採用した人材は、常に有益な人材として活用されています。

修了生の声(ビル管理技術科)

平成28年2月修了
濱 益生 さん(42歳)



前職の交通誘導警備員を辞めた後、家族にポリテクセンターに参加したことがきっかけで職業訓練を受けようと思うようになった。また年齢的にこれ以上の転職は厳しいと思い、長く勤められることを希望し、何とか入所することができました。ポ

リテクセンターで学ぶことは職場で必ず役に立つようになるので、後輩の皆さんにはしっかりと勉強するようにしてほしいと思います。また、自動火災報知設備のシミュレーターなど色々な機材を見ておけば、仕事をする時にイメージし易く、覚えるときにも役立つので、たくさん見ておいて欲しいと思います。

入社後は、現場での設備管理の仕事をしていましたが、今は本社勤務となり、各所をまわり、消防設備をはじめ色々な設備の点検の仕事をするようになりました。まだ経験が浅いので仕事が新鮮に感じている段階ですが、ゆくゆくは「〇〇のことなら濱さんに聞いて！」と言われるほどの人材になりたいと思っています。

(令和元年7月取材)